

令和 4 年 第 3 回

広陵町議会定例会 議員提出議案

- 議員提出議案第 9 号 安倍元首相の国葬の中止を求める意見書
について
〔 1 頁 〕
- 議員提出議案第 10 号 子ども医療費助成制度に係る現物給付方式
による拡充等を求める意見書について
〔 3 頁 〕

議員提出議案第9号

安倍元首相の国葬の中止を求める意見書について

上記の案件を別紙のとおり、広陵町議会会議規則第13条の規定により提出
します。

令和4年9月26日提出

提出者 広陵町議会議員 八尾春雄
賛成者 同 山田美津代

安倍元首相の国葬の中止を求める意見書

政府は、参議院議員選挙中の街頭演説中に銃撃され死去した安倍元首相の国葬を、9月27日日本武道館で行うことを決定した。

どのような政治的立場であれ、今回のような亡くなり方に驚きその死を悼むことはあるが、遺族による葬儀は既に終わっている上、亡くなってから2か月半も経過してから、多数の外国からの賓客を招き、国家行事としての葬儀を行うことについては、要する経費が警備費用を含めず2億5千万円と巨額になることや、法のもとでの平等を定めた日本国憲法に抵触する可能性が大きい。よって政府の判断だけで実施を決めることには甚だ無理があると考えらる。

また、国葬を規定した法令は現在わが国には存在せず、法的根拠が不明確であることや、国葬とすることで国家による弔意の強制につながり、日本国憲法第19条に定める国民の思想および良心の自由に抵触することも心配される。世論調査の結果でも国葬に反対が賛成を上回り世論は割れている。こうした懸念に耳を貸さず、国葬を強行することになれば、国民の中に新たな分断を持ち込むことにならないかも心配されるどころである。

むしろ安倍元首相の所属政党による党葬などに委ねるべきではないか。よって政府による安倍元首相の国葬は中止すべきである。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和4年9月26日

奈良県広陵町議会

内閣総理大臣 岸田 文雄 様

議員提出議案第10号

子ども医療費助成制度に係る現物給付方式による
拡充等を求める意見書について

上記の案件を別紙のとおり、広陵町議会会議規則第13条の規定により提出
します。

令和4年9月26日提出

提出者	広陵町議会議員	坂野佳宏
賛成者	同	千北慎也
賛成者	同	山田美津代
賛成者	同	笹井由明
賛成者	同	山村美咲子
賛成者	同	谷 禎一
賛成者	同	岡本晃隆

子ども医療費助成制度に係る現物給付方式による拡充等を求める意見書

我が国や我が地域の未来を担う子どもたちにとって、どこの地域であっても、また、いかなる家計の状況であっても、いつでも安心して社会保障制度の根幹の一つである医療を受診できることは重要であり、子ども医療費助成制度や乳幼児医療費助成制度の拡充は地方自治体がリードしてきたものである。

平成30年度より、就学前の乳幼児医療については、国民健康保険の国庫負担金等の減額調整措置、いわゆるペナルティーが廃止されたことから、奈良県では令和元年8月診療分から未就学児を対象に現物給付方式が導入され、町民の窓口負担が大きく軽減されることになり、またペナルティーを課す要因とされている受診の増加及び医療費の増加については特段の有意性は確認されていない。

一方で、就学後の子ども医療については現物給付方式により助成した場合、いまだペナルティーが課されている現状である。

このペナルティーを課している国民健康保険の国庫負担金等の算定に関する政令は、昭和34年3月24日に公布され、63年も経ている政令が根拠となっている。当時の大卒初任給（公務員）は約1万円、高卒初任給（公務員）は約6,700円程度であり、世帯状況については専業主婦層が多くを占め、我が国において1億人突破前の爆発的に人口が伸びている時代に施行されている。

こういった時代と同一視できるものではなく、現下は人口減少・少子化時代であるとともに、独り親家庭や障害児の支援、貧困対策と物価高騰対策等による子育て支援は急務である。今こそ国と地方が協力して、この問題に総力を挙げて取り組まなければならない。

よって、国においては、子どもの健やかな成長及び子どものある家庭における子育てに対する支援をするために、こども家庭庁設置に向けて取り組まれていることから、この設置の趣旨を踏まえ、速やかに以下の項目について実現するよう強く要望する。

記

- 1 就学後の子ども医療費助成制度に係る国民健康保険の国庫負担金等の減額調整措置を廃止すること。
- 2 地方自治体の取組を尊重し、子ども医療費助成を国の制度として早期に実施すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和4年9月26日

奈良県広陵町議会

衆議院議長 細田 博之 様
参議院議長 尾辻 秀久 様
内閣総理大臣 岸田 文雄 様
総務大臣 寺田 稔 様
厚生労働大臣 加藤 勝信 様
こども政策担当大臣 小倉 将信 様